

PRIDE

小松川第二中学校 第1学年

令和6年7月5日(金)

【コマⅡ生になる】ということ 第2回 (不定期連載)

10年以上も前のこと。旧校舎の時代、まだコマⅡが平井3丁目にあったころのことです。

当時、周囲から【あいさつのコマⅡ】と呼ばれていました。いつでもどこでも誰に対しても、明るくさわやかなあいさつを交わし合っていたからです。外部からいらっしゃる方々には殊の外、評判となっていました。

その評判を象徴するこんな出来事がありました。

朝の登校時間帯、中央玄関に生活委員と先生たちが立ちました。そして、登校してくる生徒たちに「おはようございます！」と声をかけていました。

こう書くと、現在とさほど違ってはいないように思えるかもしれませんが。違っていたのはここからです。

第一に、現在は生活委員や先生たちからの声かけを受けて生徒たちが「おはようございます」と返してきますが、当時は登校してくる生徒たちの方が先に「おはようございます！」と元気よく声を発していたのです。

第二に、その声が明るくさわやかで、しかもとても大きかったのです。当時は学校に教材を一切置いて帰ることができませんでした。生徒たちは毎日、修行のように重くて大きな荷物を背負って登下校していました。朝は登校するだけでも一苦労です。にも拘らず、自ら進んで元気な声を上げていたのです。

そんな登校風景が、ある日、転機を迎えます。

旧校舎の中央玄関は、正門のすぐそばにありました。

正門の前は一方通行の狭い道路。その向かいには民家が建ち並んでいました。玄関からご近所の家々までは30mと離れていなかったのです。

そんな至近距離のご近所にとっては、このあいさつのやりとりがかなり迷惑になっていました。

時間にして15分間ほどの登校時間でしたが、あまりの「うるささ」に我慢の限界が来たのでしょう。とうとうご近所から学校に苦情が入りました。

「朝のあいさつがうるさい！」と。

かと言って、生徒たちに、せっかくの明るく元気なあいさつの声を「控えめにしなさい」とは言えません。

やむを得ず、登校に使う門を正門とは反対側の裏門に替えることにしたのです。

その裏門からですと、玄関までは校庭を通り抜けることになります。雨の日にはぬかるんだ校庭を歩かなくてはなりません。それでもコマⅡ生は、無地の白い通学靴を泥だらけにしながらも大きな声であいさつを交わし、玄関に向かったのです。

やらされているあいさつだったら、使う門を替えなくてはならないほどのあいさつはできません。

誰もが心からさわやかなあいさつを交わしていたので、当時のコマⅡはとても雰囲気の良い学校でした。

生徒たちの活力に満ちた、本当に居心地の良い学校でした。



6年前の平成30年(2018年)に、この新校舎に移転してきました。

正門を入ってすぐの、39段もある外階段がいけなかったのでしょうか……コマⅡから、あの、明るくさわやかで大きな声のあいさつが薄れていきました。

とどめを刺したのは新型コロナウイルス感染症です。マスク着用が求められ、誰もがあいさつの声をひそめるようになりました。

(裏面につづきます)

もうそこに、【あいさつのコマⅡ】はありませんでした。

感染症の流行が落ち着いてきてからは、生徒会本部や中央委員会(各専門委員会の委員長の集まり)などが先頭に立って、「あいさつ運動」や「あいさつキャンペーン」を何度も繰り返してきました。

それでも残念なことに、「ご近所から苦情が来るほどのあいさつ」はいまだに聞こえてきません(もちろん現在は中央玄関の近くにご近所の家々はありませんが)。

そんなコマⅡに入学してきたからなのか、1年生諸君の登校風景も決して“明るくさわやかで元気”には見えません。

教材の多くを教室に置いておけることから、荷物はだいぶ軽くなっているはずなのですが、それでも朝からぐったりした表情で玄関を通過する生徒が多く見受けられます。

返ってくるあいさつの声も、弱々しい人が何人もいて心配になります。

元気は全ての^{みなもと}源です。

せっかく登校しても、元気に生活ができないのでは成長にプラスするものが得られません。

明るくさわやかな雰囲気为学校。それが以前のコマⅡでした。

そんな雰囲気の中で生活していたから、当時は誰もが進んで元気にあいさつを交わしていました。

いえ、逆だったかもしれません。

元気なあいさつを交わすことで、生徒たちが自らの意志で明るくさわやかな雰囲気を作り出していたのでしょう。

そんな雰囲気の中にいれば、ますます元気が湧いてきます。何をするにも意欲的で、活力に満ちた学校が成り立っていたのです。

今のこの学年も、とっても明るい学年です。

そして、全体でもっといい雰囲気を作り出していける可能性が見受けられます。

みんなの意志が高まれば、【あいさつのコマⅡ】を取り戻すことができるかもしれません。

そうなれたとき、学校全体がどんな雰囲気になるか、想像してみてください。今よりもっと明るく、さわやかで、誰もが「居心地がいい」と思える学校が生まれるのです。

「今だって十分に明るいし、居心地がいいよ」

そう感じている人がいるかもしれませんが、以前のコマⅡはこんなものではなかったのです。

ポイントは、「誰もが『居心地がいい』と思える」という点です。

クラスの中で、学年の中で、「居心地がいい」と感じている人が何人かいる——その程度でしたら、他の中学校であれ今のコマⅡであれ、日常的に見られる風景でしょう。

そうではなく、学校に^{かな}いる全ての人が「居心地がいい」と感じられるレベル。これは、そうそう簡単に到達できるものではありません。でも、それが叶ったとき、全校生徒が、あらゆることに明るく前向きに取り組むことができるようになるのです。それが、授業であろうと勉強であろうと。

何に取り組むにせよ、明るく前向きな姿勢で臨むことが最も大きな成果をもたらします。

そんな雰囲気を持った学校が、かつての【あいさつのコマⅡ】だったのです。

登校時から、自分から進んで元気なあいさつを上げる。

日中も、校内に明るいあいさつを飛び交わす。

そんな学年を、この1学年から目指していきませんか？

代々の卒業生が創り上げた【あいさつのコマⅡ】が、決して“遠い過去のきらめき”なんかではなかったと証すために。^{あか}

来週の予定

日にち	曜日	内 容
7月 8日	月	50分×6 生徒朝礼 ① 漢字コンテスト
9日	火	50分×6 ⑥ 道徳
10日	水	50分×5 15:00~ 学年集会リハーサル(武道場) (2年生 林間学校 始)
11日	木	50分×6
12日	金	50分×6 ⑥ マイタイムライン(防災行動計画)について (2年生 林間学校 終)